

解説

めまいを訴える患者を診察する場合には、それが中枢性か末梢性かを見極めることが大切である。この患者の場合、高脂血症と高血圧症の治療中で、その患者に突然の回転性めまいとふらつきが出現して、起立できなくなり、さらに後になって頭痛が出てきたとなると、まず考えなければならないのは小脳出血である。血腫で第 4 脳室が圧迫されて、閉塞性水頭症を合併している可能性もある。これを鑑別診断するには、まず頭部 CT 検査を行う。頭部 CT 検査で異常はないが、明らかに小脳症状がある場合には引き続いて頭部 MRI 検査を実施して、急性期の小脳梗塞を鑑別すべきである。この際、聴力検査や血管造影法、フレンツェル眼振検査は必要ない。

正解 b